

YELL

～輝くあなたを応援～

スポーツや芸術、ボランティア活動などさまざまな分野で活躍する人たちが、市長への表敬訪問のため市役所を訪れています。輝かしい功績や寄贈された作品などを、表敬の様子とともに紹介します。

余ったはがきを田川のために

未使用はがき2,000枚寄贈

3 / 18



市内在住の河端隆^{かわばたかし}さんが、昨年に続き未使用の官製はがき2,000枚を市に寄贈しました。河端さんは郵便はがきに一手を書いて送り合う「郵便将棋」の愛好家。昭和55年から続けていますが、最近では対戦相手が年々減少。使わなくなったハガキを有効活用してもらおうと、市への寄贈をはじめました。

毛先を整え、優しさと勢いのある作品に

全日本美容技術選手権大会優勝

2 / 26



市内の美容室「ヘアースペース宙^{そら}」で働き腕を磨いている野中樹里^{ののなかじゅり}さんが全日本美容技術選手権大会のカット＆ブロー競技で優勝したことを市長に報告しました。野中さんは「毛先は整え、顔周りは優しい雰囲気。全体的には勢いのある作品に仕上げました。毎日練習したので優勝できて嬉しい」と笑顔で語りました。

わが街 Watching My Town Watching

災害の現状を学び、身を守る準備をする

弓削田小学校防災教育

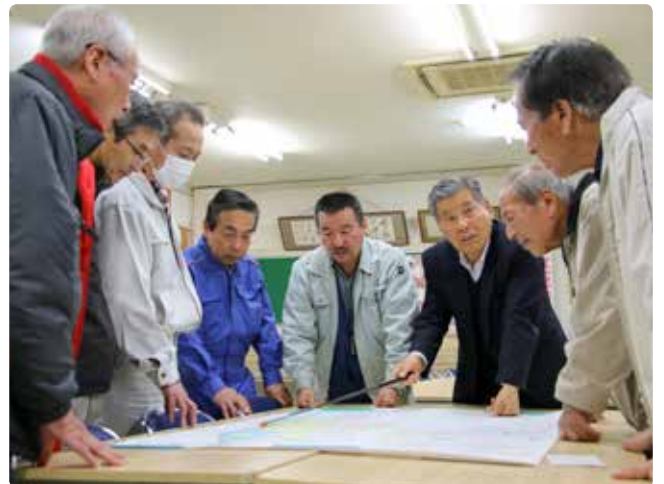
弓削田小学校で、4年生～6年生の児童を対象にした地域防災教育が行われました。これは、市教育委員会が実施する「令和元年度学校安全総合支援事業」の一環で、児童生徒が自然災害への関心を高め、災害に対応する力を身につけるためのもの。子どもたちは、約1年間をかけて被災地を訪問するなどし、自然災害から命や身体を守る知識や技能、被災時の対応方法などを学びました。

9月6日には、4年生が平成29年の九州北部豪雨で甚大な被害を受けた朝倉市を訪問。実際に被災した松末^{まつもと}小学校の周辺を巡りながら、当時の状況や復興の様子を学びました。また、10月21日には、6年生が平成28

年に起こった熊本地震の被災地である熊本市を訪れました。熊本城の被災状況と復元作業などを見学したほか、被災した出水南^{いずみなみなみ}小学校で地元の小学生と意見交換を実施。災害時には互いに励まし合うことが大切であると学びました。1月24日には、5年生が「身近に潜む危険な場所」をテーマに地元密着で学習。弓削田校区の地図を使い、通学路で危険と思われる場所を話し合い、校区周辺の安全マップを作成しました。この安全マップを活用し、奈良区では、避難経路や危険箇所の確認などが行われました。こうした体験に基づく学びは、子どもたち自身を守るだけでなく、学校や地域における防災力の強化に繋がっています。



▲校区の地図を囲み、危険な場所を確認する5年生児童



▲奈良区では高齢者の避難方法など具体的な意見も多く出ました